

**佐渡島における舟小屋に関する調査研究**  
**その1 佐渡島沿岸部における舟小屋の残存状況とその建築特性**  
**Research on boathouse in Sado Island**  
**Part 1 Survival situation and boathouse in coastal area**

○山田優祐<sup>1</sup>, 本間拓海<sup>1</sup>, 菅原遼<sup>2</sup>, 畔柳昭雄<sup>2</sup>

\*Yusuke Yamada<sup>1</sup>, Homma Kakumi<sup>1</sup>, Ryo Sugahara<sup>2</sup>, Akio Kuroyanagi<sup>2</sup>

**Abstract.** The purpose of this study is to clarify the characteristics and regional characteristics of boat house in the coastal area of Sado Island, Niigata Prefecture. Based on the field survey, the distribution of boat house located in the coastal area of Sado Island was grasped. In addition, the relationship between the architectural form of the boat cabin and the shape of the village was organized. Based on this situation, we think that it is necessary to examine the usage policy and utilization method of the boat cabin in the future.

**1. はじめに**

我が国の沿岸部には漁業を生業とした集落が多数形成され、2017年時点で4,130ヶ所の漁業集落が存在している。特に、日本海沿岸部の漁業集落では、降雨・降雪や海象条件に合わせ、漁具や舟を収納するための舟小屋が多数建設され、地域特有の水辺の景観を創出してきた。しかし、近年の漁業従事者数の減少や舟の近代化に伴い舟小屋の未利用化が進んでいる。特に、新潟市佐渡島沿岸部では、宮本常一の調査により、特有の舟小屋の存在が確認されていたが、その数を減少させている。そのため、今後の漁業集落の存続・発展を考える上で地域資源としての舟小屋の再評価および舟小屋の利活用方法を検討する必要があると考える。

そこで本稿では、佐渡島沿岸部に着目し舟小屋の残存状況の傾向と建築特性を把握することを目的とする。

**2. 調査概要**

調査概要を Table1 に示す。本調査は、佐渡島沿岸部を対象とした現地踏査および現地住民へのヒアリング調査を実施し、舟小屋の分布状況を把握した。次いで、舟小屋とその周辺環境との関係や建築形態と集落形状との関係の比較検討、所有者ごとの舟小屋の利用状況等を整理した。

**3. 調査結果**

**3-1. 佐渡島沿岸部における舟小屋の分布状況**

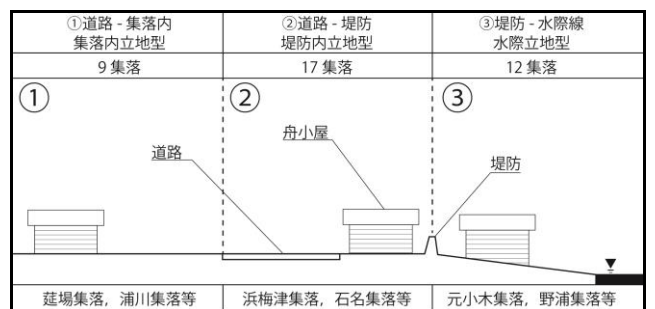
佐渡島沿岸部における舟小屋の分布を Fig 1 に示す。調査の結果、佐渡島沿岸部に立地する舟小屋は、38集落 166軒確認できた。特に、北片辺集落では35軒と最も多く確認でき、石名集落が12軒、浜梅津集落と元小木集落が9集落と続いた。また、舟小屋が1軒のみ残

**Table1. Survey overview**

項目	内容
調査対象	新潟県佐渡島沿岸部に残存する舟小屋
調査方法	現地踏査、現地住民に対するヒアリング調査
調査項目	佐渡島沿岸部における舟小屋の残存数、建築形態、集落形状
調査期間	2019年8月5日～8月26日



**Figure1. Distribution of boat house in Sado island**



**Figure2. Relationship of boat house and Surrounding environment**

存している集落は11集落確認できた。集落の分布特性に着目すると、舟小屋が5軒以上残存している集落は佐渡島北部に多く分布していた。

1 : 日大理工・学部・海建      2 : 日大理工・教員・海建

### 3-2. 舟小屋と周辺環境との関係性

舟小屋と周辺環境との関係性を Fig 2 に示す。状の舟小屋の立地状況と周辺の堤防・道路等との関係を整理した結果、空間構成として「集落内立地型」、「堤防内立地型」、「水際立地型」に大別できた。まず、集落内立地型の舟小屋は 9 集落 33 軒確認でき、その多くは海岸線から離れた位置に建設されていた。次いで、堤防内立地型の舟小屋は 17 集落 95 軒確認できた。これらの舟小屋には、堤防整備によって海側の間口が閉鎖され舟小屋としての利用が不可能となったものが確認できた一方、日常的な海面への漁船の搬入・搬出を想定し堤防の一部を開放したものも確認できた。堤防によって間口が閉鎖された舟小屋は、納屋や野菜の保管場所等として再利用されているものが多くみられ、漁船は近傍の漁港の舟揚場に集約されていた。次いで、水際立地型の舟小屋は、12 集落 38 軒確認できた。これらは舟小屋本来の海際立地となっており、堤防内の舟小屋と比較して漁船の容易な搬入・搬出が可能となっている。

### 3-3. 舟小屋の建築形態の分類

舟小屋の建築形態の分類を Table 2 に示す。舟小屋の建築形態は、舟の収容可能数に応じて「単一型」と「連棟型」に大別できた。単一型の舟小屋は 155 軒確認でき、主に舟揚場や漁具倉庫として利用され、所有者個人による維持管理がなされている事例が多くみられた。次いで、連棟型の舟小屋は 11 軒確認でき、主に舟揚場として利用されていた。これらは、複数の漁業従事者が資金を捻出し合い建設しているため共同管理されている事例が多くみられた。

### 3-4. 舟小屋の建築形態と集落形状との関係性

舟小屋の建築形態と集落形状との関係性を Table 3 に示す。集落形状については、家屋や舟小屋の配置に応じて「塊状」、「列状」、「離散状」に大別でき、塊状は 20 集落、列状は 15 集落、離散状は 3 集落確認できた。塊状集落は、集落内に余地があるため、比較的規模の大きい連棟型の舟小屋が多く分布していた。また、列状集落は、背後に山地が形成されていることが多く、家屋と舟小屋が海岸線に沿って並列して建設されているため、単一型の舟小屋が多く分布していた。

### 4. おわりに

本稿では、新潟市佐渡島沿岸部における舟小屋の分布状況と建築特性を整理した。その結果、佐渡島沿岸部において舟小屋 166 軒を確認でき、特に佐渡島北部の漁業集落に複数棟残存している状況を把握した。舟

Table2. The architecture of the boat house

形態	単一型	連棟型
例		
軒数	155/166 軒 (93%)	11/166 軒 (7%)
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人管理</li> <li>・一部倉庫として使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同管理</li> <li>・舟揚場のみを使用</li> </ul>
模式図		




集落形状								
塊状			列状			離散状		
								
20 集落			15 集落			3 集落		
単一型のみ	連棟型のみ	単一型 連棟型	単一型のみ	連棟型のみ	単一型 連棟型	単一型のみ	連棟型のみ	単一型 連棟型
12/38(32%)	4/38(11%)	4/38(11%)	15/38(38%)	0/38(0%)	0/38(0%)	1/38(3%)	2/38(5%)	0/38(0%)

Table3. Relationship between the architectural form of the boat house and the village form

小屋の建築形態は単一型と連棟型に大別でき、単一型は個人管理、連棟型は共同管理が多くなされており、舟小屋の建築形態に応じた違いがみられた。しかし、こうした沿岸部に立地する舟小屋は、海岸線の堤防整備や国道敷設によって内陸部に残存しているものも多くみられ、本来の用途とは異なる利用や未利用化している事例もみられた。今後は、こうした佐渡島沿岸部に立地する舟小屋の風土性および地域性に関する比較検討・評価を行い、舟小屋の利活用方法および維持管理方法について検討を行う。

### 5. 参考文献

- [1] 宮本常一：「南佐渡の漁村と漁業」, テム研究所出版, 1975.05.
- [2] 柴嶺高行：「新潟県における舟小屋の残存状況および外観特性」, 日本建築学会論文集, 第 54 号 pp.409-412, 2011.07.
- [3] 岡野崇裕：「沿海多雨・多雪地域に立地する舟小屋を有する集落の生活空間特性に関する研究-生活環境としての集落・民家・生活習慣の成立について その2」, 日本建築学会論文集, 第 526 号 pp.131-138, 1999.12.
- [4] 神崎宣武：「舟小屋-風土とかたち」, INAX 出版, 2007.3.15.